

精神科薬物療法で用いる向精神薬のリスト (2)

福田 雄一¹⁾

A List of Psychotropic Agents Used in Psychiatric Pharmacotherapy (2)

Yuichi Fukuda

はじめに

心理臨床家の実践領域のひとつである精神科医療の現場では、各種の疾患・障害の治療のために薬物療法が行われており、心理療法や社会生活支援と並んで重要な役割を果たしている。

薬剤の名称には一般名と商品名があり、一般名が薬剤の化学的な構造や特性、国際的な通用性の見地から命名されるのに対し、商品名は販売事業者ごとに異なった名称がつけられる。新薬（先発医薬品）に係る特許期間の終了後は、先発医薬品と「同一成分を含む同一の剤形の製剤で、効能・効果、用法・用量が同じ医薬品」すなわち「後発医薬品（いわゆるジェネリック医薬品）」（増原・北村，2013）が各事業者から発売される。後発医薬品は、患者自己負担や社会保障費の軽減に貢献するとされ、精神科病院においても包括病棟（特定入院料算定病棟）を中心に約2割前後の品目が採用されているとの報告がある（廣谷ら，2013）。

しかし、後発医薬品の商品名が多様であることは、われわれ心理臨床家だけでなく、精神科医療のもう一方の当事者である患者や家族が薬物についてよく理解することのハードルを高くしているように思われる。在宅の患者を中心に対象とした

調査では、後発医薬品について半数以上の者が「よくわからない」と回答しており（山梨，2007）、医療機関や薬局におけるインフォームド・コンセントのプロセスにも課題があるといえる。

以上をふまえて本稿では、前報（福田，2008）に引き続き、2013年末現在で流通している主な向精神薬をリストアップする。作業にあたっては、一般名と商品名の対応関係を明確にすることに主眼をおいて、検索の便宜となるようにリストを構成した。それぞれの薬剤の効能など詳細は成書を参照していただきたい。後発医薬品のうち、一般名と同一の名称で販売されている商品がある場合は、一般名の末尾に*（アスタリスク）を示した（実際には、一般名に続いて販売事業者名を識別する語句が付されることが多い）。

I 抗うつ薬 antidepressant

うつ病の治療薬としてまず選択されるのは、従来型（三環系・四環系）に比べて副作用の比較的小さい選択的セロトニン再取り込み阻害剤（Selective Serotonin Reuptake Inhibitor：SSRI）や選択的ノルアドレナリン再取り込み阻害剤（Selective Noradrenalin Reuptake Inhibitor：SNRI）、ノルアドレナリン作動性・特異的セロトニン作動性抗うつ薬（Noradrenergic and Specific

1) 広島文教女子大学人間科学部心理学科

表1 代表的な抗うつ薬

分類	一般名	代表的な商品名	その他の商品名・備考
三環系抗うつ薬	イミプラミン imipramine	トフラーニール Tofranil, イミドール Imidol	最初の三環系抗うつ薬
	クロミプラミン clomipramine	アナフラニール Anafranil	
	トリミプラミン trimipramine	スルモンチール Surmontil	
	アミトリプチリン amitriptyline	トリプタノール Tryptanol	ノーマルン Normaln
	ノルトリプチリン nortriptyline	ノリトレン Noritren	
	ロフェプラミン lofepramine	アンプリット Amplit	
	アモキサピン amoxapine	アモキサン Amoxan	
	ドスレピン dosulepin	プロチアデン Prothiaden	
四環系抗うつ薬	マプロチリン maprotiline	ルジオミール Ludiomil	クロンモリン Cronmolin, ノイオミール Neuomil, マプロミール Mapromil
	ミアンセリン mianserin	テトラミド Tetramide	
	セチプチリン setiptiline	テシプール Tecipul	ビソプール Bisopool
SSRI	フルボキサミン fluvoxamine*	デプロメル Depromel, ルボックス Luvox	過食・過眠を伴う非定型うつ病、強迫性障害、社会不安障害にも有効
	パロキセチン paroxetine*	パキシル Paxil	徐放錠あり（パキシル CR）
	セルトラリン sertraline	ジェイゾロフト Jzoloft	
	エスシタロプラム escitalopram	レクサプロ Lexapro	ノルアドレナリン・ドパミントランスポーターへの親和性が低い
SNRI	ミルナシبران milnacipran*	トレドミン Toledomin	
	デュロキセチン duloxetine	サインバルタ Cymbalta	
NaSSA	ミルタザピン mirtazapine	レメロン Remeron, リフレックス Reflex	不安・焦燥感、性功能障害等の初期副作用が少ない
その他	トラゾドン trazodone	レスリン Reslin, デジレル Desyrel	アンデブレ Undepre

Serotonergic Antidepressant：NaSSA）である。この一方、双極性障害に対しては気分安定薬（後述）が用いられ、抗うつ剤は推奨されない。

II 抗不安薬

antianxiety agents (minor tranquilizer)

抗不安薬は、パニック発作などに代表される不安障害の治療や、他の疾患・障害でも不安・緊張・焦燥感がみられる場合は対症療法的に用いられ、化学構造的にはベンゾジアゼピン系の薬剤が主流を占める。効果を得るために必要な量（力価 potency）や持続時間によって多様に分類され、症状に応じて使い分ける。催眠・鎮静作用が強い

ものは、睡眠導入薬としても用いられる（後述）。

III 気分安定薬（抗躁薬） mood stabilizer (antimanic agents) ・精神刺激薬

気分安定薬は、躁病や双極性障害における躁状態、双極性障害のうつ状態、それらの再発・悪化の予防に用いられる。一部に抗てんかん薬（後述）として開発された薬剤が含まれる。

精神刺激薬は中枢神経刺激薬（central nervous system stimulant）ともよばれ、ナルコレプシーに用いられるが、一部の薬剤は注意欠陥・多動性障害の治療薬として関心を集めている。

表2 代表的な抗不安薬

分類	一般名	代表的な商品名	その他の商品名・備考
ベンゾジアゼピン系	(短時間型)	エチゾラム etizolam*	デパス Depas アロファルム Arophalm, エチカーム Eticalm, エチセダン Etisedan, エチゾラン Etizolan, カプセーフ Capsafe, セデコバン Sedekopan, デゾラム Dezolam, デムナット Demunatto, ノンネルブ Nonnerv, パルギン Palgin, モーズン Mozun
		クロチアゼパム clotiazepam*	リーゼ Rize イソクリン Isocline, ナオリーゼ Naorise
		フルタゾラム flutazolam	コレミナル Coreminal 消化器症状にも効果
	(中間型)	ロラゼパム lorazepam	ワイパックス Wypax ユーパン U-pan
		アルプラゾラム alprazolam*	ソラナックス Solanax, コンスタン Constan カームダン Calmdown, メデポリン Medepolin
		フルジアゼパム fludiazepam	エリスパン Erispan
		ブロマゼパム bromazepam	レキソタン Lexotan セニラン Seniran
	(長時間型)	メキサゾラム mexazolam	メレックス Melex
		ジアゼパム diazepam*	セルシン Cercine, ホリゾン Horizon ジアパックス Diapax, セエルカム Cellkam, セレナミン Serenamin
		クロキサゾラム cloxazolam	セバゾン Sepazon
		クロルジアゼポキシド chlordiazepoxide	コントロール Contol バランス Balance, コンスーン Consun
		クロラゼパム酸二カリウム clorazepate dipotassium	メンドン Mendon
		メダゼパム medazepam*	レスミット Resmit
	(超長時間型)	オキサゾラム oxazolam	セレナール Serenal ペルサール Pelusarl
		ロフラゼパム酸エチル ethyl loflazepate	メイラックス Meilax ジメトックス Demethox, スカルナーゼ Sukarnase, メデタックス Medetax, ロンラックス Ronlax
フルトプラゼパム flutoprazepam		レストラス Restas	
その他	タンドスピロン tandospirone*	セディール Sediel	
	ヒドロキシジン hydroxyzine	アタラックス Atarax ハタナジン Hatanazin	
	トフィソパム tofisopam*	グランダキシン Grandaxin エマンダキシン Emandaxin, グランパム Granpam, ツルベール Tsurubel, トフィール Tofiel, トフィス Tofis, トフィルシン Tofilsin, トルバナシン Tolbanasin, トロンハイム Tronheim, バイダキシン Bydaxin 自律神経機能の不均衡調整に効果	

IV 抗精神病薬

antipsychotics (major tranquilizer)

抗精神病薬は、統合失調症圏の幻覚・妄想や双極性障害、認知症における精神運動興奮などの抑制に効果をもつ。クロルプロマジン、ハロペリドールに代表される第一世代の抗精神病薬 (First-

Generation Antipsychotics : FGA) は、錐体外路症状や遅発性ジスキネジアなどの副作用を起こしやすいため、現在ではドパミンやセロトニンの受容体への選択性を高めた第二世代の抗精神病薬 (Second-Generation Antipsychotics : SGA) が第一選択として用いられる。

表 3 代表的な気分安定薬・精神刺激薬

分類	一般名	代表的な商品名	その他の商品名・備考
気分安定薬 (抗躁薬)	炭酸リチウム lithium carbonate*	リーマス Limas	リチオマール Litiomal
	バルプロ酸ナトリウム sodium valproate*	デバケン Depakene, セレニカ Selenica	エピレナート Epirenat, サノテン Sanoten, セレブ Cereb, ハイセレニン Hyserenin, バルデケン R Baldeken-R, バルプラム Valpram, バレリン Valerin
	カルバマゼピン carbamazepine*	テグレートール Tegretol	レキシリン Lexin
精神刺激薬	メチルフェニデート methylphenidate	リタリン Ritalin, コンサータ Concerta	徐放剤のコンサータは AD/HD に適用
	モダフィニル modafinil	モディオダール Modiodal	
	ペモリン pemolin	ベタナミン Betanamin	
	アトモキセチン atomoxetine	ストラテラ Strattera	AD/HD 症状の改善

表 4 代表的な抗精神病薬

分類	一般名	代表的な商品名	その他の商品名・備考
フェノチアジン系	クロルプロマジン chlorpromazine*	ウインタミン Wintermin, コントミン Contomin	最初の抗精神病薬
	レボメプロマジン levomepromazine*	ヒルナミン Hirnamin, レボトミン Levotomin	レボホルテ Levohalte
	フルフェナジン fluphenazine	フルメジン Flumezin	
	トリフロペラジン trifluoperazine	トリフロペラジン Trifluoperazine	
	ペルフェナジン perphenazine	ピーゼットシー-PZC	トリラホン Trilafon
	プロクロルペラジン prochlorperazine	ノバミン Novamin	
プロペリシアジン propericiazine	ニューレプチル Neuleptil		
ブチロフェノン系	ハロペリドール haloperidol*	セレネース Serenace	ハロステン Halosten, リントン Linton, レモナミン Lemonamin
	ピパンペロン pipamperon	プロピタン Propitan	
	スピペロン spiperone	スピロピタン Spiropitan	
	チミペロン timiperone	トロペロン Tolopelon	セルマニル Celmanil
	ブロムペリドール bromperidol	インプロメン Impromen	プリンドリル Prindril

ベンザミド系	スルピリド sulpiride*	ドグマチール Dogmatyl, アビリット Abilit,	ピリカップル Pyrikappl, マーゲノール Margenol, ミラドール Miradol
	スルトプリド sultopride	バルネチール Barnetil	スタドルフ Stadorf, バチール Batil
	ネモナプリド nemonapride	エミレース Emilace	
第2世代抗精神病薬	リスペリドン risperidone*	リスパダール Rispardal	
	ペロスピロン perospirone*	ルーラン Lullan	
	ブロナンセリン blonanserin	ロナセン Lonasen	
	クエチアピン quetiapine*	セロクエル Seroquel	
	オランザピン olanzapine	ジブレキサ Zyprexa	
	アリピプラゾール aripiprazole	エビリファイ Abilify	シナプスのドパミン量に応じて作用が変化する。双極性障害の躁状態にも適用
	パリペリドン pakiperidone	インヴェガ Invega	リスペリドンの改善品。持続型あり
その他	ゾテピン zotepine	ロドピン Lodopin	セトウス Setous, メジャピン Majorpin, ロシゾピロン Losizopilon
	オキシペルチン oxypertine	ホーリット Forit	
	ピモジド pimozide	オーラップ Orap	
	カルピプラミン carpiramine	デフェクトン Defekton	
	クロカプラミン clocapramine	クロフェクトン Clofekton	パドラセン Padrasen
	モサプラミン mosapramine	クレミン Cremin	
	クロザピン clozapin	クロザリル Clozaril	ジベンゾジアゼピン系
持続型抗精神病薬	デカン酸ハロペリドール haloperidol decanoate	ネオペリドール Neoperidol, ハロマンズ Halomonth	4週持効型
	デカン酸フルフェナジン fluphenazine decanoate	フルデカシン Fludecasin	4週持効型
	リスペリドン risperidone	リスパダールコンスタ Risperdal Consta	2週持効型
	パリペリドンパルミチン酸 paliperidone palmitate	ゼプリオン Xeprion	2週持効型

V 睡眠・鎮静薬 sedative-hypnotic agents

睡眠・鎮静薬ではバルビツール酸系の薬剤が早くから開発された。現在では安全性の観点から、抗不安薬と同様にベンゾジアゼピン系の薬剤が多く用いられている。筋弛緩や呼吸抑制などの副作用が重大なリスクとなる場合は、非ベンゾジアゼピン系の薬剤が選択される。

VI その他

抗てんかん薬はてんかんの治療に用いるが、一部（特に第2世代の薬剤）は既に挙げたように気分安定薬として双極性障害の治療にも用いられる。脳循環・代謝改善薬は頭部外傷や脳梗塞・脳出血の後遺症である意識障害を初めとした種々の精神症状の治療に用いられ、抗認知症薬はアルツハイマー型認知症症状の進行を抑制する。このほか、抗酒剤や禁煙補助薬は、厳密には向精神薬の範疇に含まれないが、依存症の治療に用いられることがあるため記載した。

表5 代表的な睡眠・鎮静薬

分類	一般名	代表的な商品名	その他の商品名・備考	
ベンゾジアゼピン系	(超短時間型)	トリアゾラム triazolam*	ハルシオン Halcion アスコマーナ Ascomana, カムリトン Camriton, トリアラム Trialam, ハルラック Halrack, パルレオン Paruleon, ミンザイン Minzain	
	(短時間型)	ミダゾラム midazolam*	ドルミカム Dormicum	
		プロチゾラム brotizolam*	レンドルミン Lendormin	アムネゾン Amnezon, グッドミン Goodmin, ゼストロミン Zestromin, ソレントミン Sorentmin, ネストローム Nestrom, ノクスタール Noxtal, ブロゾーム Brozom, プロチゾラン Brotizolan, ブロメトン Brometon, レドルパー Ledolpar, ロンフルマン Ronfleman
		リルマザホン rilmafazone*	リスマー Rhythmy	
		ロルメタゼパム lormetazepam	エバミール Evamyl	ロラメット Loramet
	(中間型)	ニトラゼパム nitrazepam*	ベンザリン Banzalin, ネルボン Nelbon	チスボン Cysvon, ネルロレン Nelurolen, ノイクロニック Neuchlonic, ヒルスカミン Hirusukamin
		ニメタゼパム nimetazepam	エリミン Erimin	
		エスタゾラム estazolam*	ユーロジン Eurodin	
		フルニトラゼパム flunitrazepam*	サイレース Silece, ロヒプノール Rohypnol	ビビットエース Bibittoace, フルトラース Flutrace
		フルラゼパム flurazepam	ベノジール Benozil	ダルメート Dalmate,
(長時間型)	ハロキサゾラム haloxazolam	ソメリン Somelin		
	クアゼパム quazepam*	ドラルール Doral		
非ベンゾジアゼピン系	ゾルピデム zolpidem*	マイスリー Myslee		
	ゾピクロン zopiclone*	アモバン Amoban	アモバンテス Amobantes, スローハイム Slowheim, ゾピクール Zopicool, ドパリアル Dopareel, メトローム Metrom	
	エスゾピクロン eszopiclone	ルネスタ Lunesta	超短時間型 (入眠困難に有効)	
	ラメルテオン ramelteon	ロゼレム Roserem	メラトニン受容体に作用し、覚醒リズム改善に有効	
バルビツール酸系	ペントバルビタール pentobarbital	ラボナ Ravona		
	セコバルビタール secobarbital	アイオナールナトリウム Ional sodium		
	アモバルビタール amobarbital	イソミタール Isomytal		
	フェノバルビタール phenobarbital*	フェノバル Phenobal	ルピアール Lupial, ワコビタール Wakobital, 抗てんかん薬としても利用	
合剤	(クロルプロマジン, プロメタジン promethazine, フェノバルビタール)	ベゲタミン Vegetamin A, B	プロメタジンは鎮静・抗パーキンソン作用を有する抗ヒスタミン剤 A 剤は B 剤の 2 倍の配合成分量	
その他	抱水クロラール cloral hydrate*	エスクレ Escre		
	ブロムワレリル尿素 bromovalerylurea*	ブロバリン Brovarin		
	トリクロホスナトリウム triclofos sodium	トリクロリール Tricloryl		
	臭化カリウム KBr	臭化カリウム KBr		
	臭化カルシウム CaBr ₂	ブロカル Brocal	小児難治性てんかんにも適用	

表6 精神科領域で用いられるその他の薬

分類	一般名	代表的な商品名	その他の商品名・備考	
抗てんかん薬	第1世代 (2005年までに発売)	エトスクシミド ethosuximide	ザロンチン Zarontin	エPILEオプチマル Epileo petit mal
		カルバマゼピン carbamazepine*	テグレトール Tegretol	レキシソ Lexin
		クロナゼパム clonazepam	リボトリール Rivotril	ランドセン Landsen
		クロバザム clobazam	マイスタン Mystan	
		ゾニサミド zonisamide	エクセグラン Excegran	エクセミド Excemide
	バルプロ酸ナトリウム sodium valproate*	デパケン Depakene, セレンカ R Selenica-R	エピレナート Epirenat, サノテン Sanoten, セボトボル Cebotval, セレブ Cereb, ハイセレニン Hyserenin, バルデケン R Baldeken-R, バルブラム Valpram, バレリン Valerin	
	フェニトイン phenytoin	アレビアチン Aleviatin	ヒダントール Hidantol (配合剤あり)	
	第2世代	トピラマート topiramate	トピナ Topina	
		ラモトリギン lamotrigine	ラミクタール Lamictal	
		ガバペンチン gabapentin	ガバペン Gabapen	
レベチラセタム levetiracetam		イーケプラ E Kepra		
脳循環・代謝改善薬	チアプリド tiapride*	グラマリール Gramalil	クックール Cuckool, グリノラート Grinolart, チアプリム Tiaprim, チアラリード Tialaread, チアリーール Tiaryl, ノイリラーク Neurelark, ボインリール Boinlil	
	ニセルゴリン nicergolin*	サアミオン Sermion	サルモシン Salumosin, セルフアミン Selphamin, ソクワール Socwarl, バソゴリン S Vasogoline-S, ヒルブリン N Hirubulin-N, マリレオン N Marileon-N	
	メクロフェノキサート meclofenoxate	ルシドリール Lucidril	メクロサート Meclosert	
	シチコリン citicolone*	ニコリン Nicholin	シスコリン Cyscholin	
	ドネペジル donepezil*	アリセプト Aricept	わが国初の抗認知症薬	
抗認知症薬	ガラントアミン galantamine	レミニール Reminyl	軽中度アルツハイマー型認知症に適用	
	メマンチン memantine	メマリー Memary	中高度アルツハイマー型認知症に適用	
	リバスチグミン rivastigmine	イクセロン Exelon, リバスタッチ Rivastach	軽中度アルツハイマー型認知症に適用, 貼用剤	
	シアナミド cyanamide	シアナマイド Cyanamide		
抗酒薬・禁煙補助薬	ジスルフィラム disulfiram	ノックビン Nocbin		
	アカンプロサートカルシウム acamprosate calcium	レグテクト Regtect		
	ニコチン nicotine	ニコチネル Nicotinell		
	バレニクリン varenicline	チャンピックス Champix		
	ガバペンチンエナカルビル gabapentin enacarbil	レグナイト Regnite	レストレスレッグス症候群治療薬	
その他	カルテオロール carteolol*	ミケラン Mikelan	カルテロール Cartelol, カルノノン Kalnonon, チオグール Thiogule, チスタロール Cystarol, ベタメノール Betamenol, メルカトア Mercatoa βアドレナリン受容体を遮断し, 頻脈改善作用があるため, 心臓神経症に適用	
	ダントロンナトリウム dantrolene sodium	ダントリウム Dantrium	脳血管障害後遺症や脳性麻痺などに伴う痙性麻痺, 悪性症候群に適用	
	フルマゼニル flumazenil*	アネキセート Anexate	ベンゾジアゼピン系薬剤による鎮静解除	

文献・関連サイト

- 独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (2014). 医薬品医療機器情報提供ホームページ <<http://www.info.pmda.go.jp/>> (2014年1月31日閲覧).
- 福田雄一 (2008). 精神科薬物療法で用いる向精神薬のリスト 広島文教女子大学心理教育相談センター年報, **16**, 25-34.
- 廣谷芳彦・高橋智生・川村大輔・吉岡厚子・梅沢花子・浦島庸子・名徳倫明・天正雅美 (2013). 精神科病院における精神・神経系薬剤での後発医薬品の使用状況に関する調査と薬剤師意識 ジェネリック研究, **7** (2), 124-128.
- 功刀 浩 (編) (2013). 研修医・コメディカルスタッフのための精神疾患の薬物療法講義 金剛出版.
- 増原慶壮・北村正樹 (編) (2013). 今日のジェネリック医薬品2013-2014 南江堂.
- 名島潤慈 (2000). 心理臨床家に求められる精神医学的知識 鎌幹八郎・名島潤慈 (編) 新版心理臨床家の手引 誠信書房 Pp.228-240.
- 高久史磨・矢崎義雄 (監修) (2014). 治療薬マニュアル2014 医学書院.
- 山口 登・酒井 隆・宮本聖也・吉尾 隆・諸川由実代 (編) (2014). こころの治療薬ハンドブック (第9版) 星和書店.
- 山梨宗治 (2007). 当事者調査隊が行く! 精神医療ユーザーの現状と声 (6) 薬の健康への影響とジェネリック薬 精神科看護, **34** (6), 64-67.